

杜の風

校長 森 薫

◎JRC 登録式・生徒総会

生徒会本部役員・専門委員会の委員長副委員長・学級委員の皆さん、企画・協議・準備・運営、大変ありがとうございました。お疲れさまでした。

これからも生徒会本部役員を中心として、より良い毛里田中を全校生徒で創っていきましょう。さわやかな・しっかりとした挨拶を全員でしよう。

◎生徒総会での私の話です。

校則に関係することが出されましたが、なぜ校則があるのか、なぜ校則が必要なのか考えてみたいと思います。

人には、同じことをするにしても、「これなら大丈夫という人。ここまですら大丈夫という人。これをやってはやってはまずいんじゃないかという人。」というように、人によって考えに違いがあり、その考え方にはそれぞれの基準があります。

では、その一人一人違う考え方や考え方の基準によって、一人一人が学校生活を送っていったらよいのでしょうか？ 私がいつも言っている、

「誰もが明るく・楽しく・元気よく過ごせる学校」になるのでしょうか？

人によって違う考え方や考え方の基準で学校生活を過ごしていたら、学校はどうなるでしょうか。授業や委員会活動、部活動、学校行事など色々なことに支障が出てくるのではないのでしょうか。それぞれの考え方や考え方の基準で生活していいというわけにはいかないと思います。

私は、たくさんの方が集団で生活していく場である学校においては、ある程度のきまりが必要だと考えます。一人一人違う考え方や考え方の基準がありますので、生活に支障が出ないようにするために一つの線引きをし一定の条件を付けたものが校則だと思います。

校則がなくても、生徒一人一人が注意し、集団生活の秩序を保ったり、身だしなみを身に付けたり、健康に影響の無いようにしたり、進路に影響

のないようにしたりすることが、それが一番良いことだと思います。

全く違う色に髪を染めて学校に登校する。ピアスをして登校する。

私が以前勤務していた館林の中学校のことです。

あなたは、こういったことをやりますか？

おそらくあなたはやらないと思います。

なぜなら集団生活をしている学校生活の中で、そこまでやってはいけないことだとあなたが考えると思うからです。あなたの基準で、それは許されないことだと判断すると思うからです。

そして、あなただけでなく、多くの生徒の皆さんがそう考えそう判断しているからこそ、何事にも集中できる環境の今の毛里田中があるのではないのでしょうか。

服装や身だしなみについては、どの高校を受験するにしても問題にされることはないというのが校則になっているところでもあります。

皆さんの考え方や考え方の基準は、今までの家庭生活や学校生活の中で培われてきたものだと思います。校則について考え方の違いは当然です。

毛里田中のきまりには、昔からの変えていないものもあります。それは、今でも必要であると考えられるものであり、またそれが生徒に守られていないために継続しているものもあります。皆が守るようになれば、そのきまりは必要なくなり、当然校則にしておく必要もありません。

また、毛里田中の校則の中には、今の時代に合っていないものもあります。そのため、生徒指導主事の高橋先生を中心として、少しずつ変えてきているところです。靴下のワンポイントの大きさも、靴の色も、寒い時のひざ掛けの使用も、部活終了時の部活Tシャツでの下校を認めていることも、ある程度生徒と家庭に選択肢を与えるようにと変えています。今までの物を履いたりしてはいけないということではありません。また、今までよりも安価な物を買うことができるようにという考えもあります。

一人一人違う考え方や考え方の基準があるため、一つの線引きをし一定の条件を付けたものが校則です。みんなを守れば、校則はなくなります。